

実施日：令和5年6月9日（金） コマ：3

事業名：鉄道施設総合安全対策事業

とりまとめ結果：事業内容の一部改善

現状通り3名	事業内容の一部改善3名	事業全体の抜本的な改善0名	廃止0名
--------	-------------	---------------	------

【とりまとめコメント】

- 次なる改善の気付きにつながる短期アウトカム指標を設定すべき。
- 事業全体をきちんと説明した上で、事業間の優先順位付けについて説明できるようにすべき。
- 浸水対策、豪雨対策の必要な箇所を適正に把握するとともに、関係者の理解を得るための有意義な方策を検討すべき。
- 耐震対策事業について予算継続の要否の検討が必要。

【外部有識者の主なコメント】

- ・ 各論点についてボトルネックと改善点が示され、政策効果をより発揮する具体策が見えてきた。一方で、長期アウトカムとして被害件数0件が続くのは、事業のPDCAとしては不健全。次なる改善の気付きにつながる指標を見出し、これを短期アウトカムに設定するよう検討すべき。
- ・ 優先順位の根拠が不透明な点が気になる。
- ・ 浸水対策、豪雨対策が必要な箇所が適正に把握できているのか。未整備な箇所の中で、早急に対応すべきところと、対応すべきところなどの分類が必要ではないか。
- ・ 関係者の理解を得る方策として、具体的で有意義な施策の検討ができていないのか。
- ・ 耐震対策事業は耐震化率100%の目標に近づいており、予算継続の要否について検討が必要。
- ・ 補助要件の見直しには同意するが、既存の補助案件と経済的効果等を比較して、判断していく必要がある。
- ・ 課題は豪雨対策、浸水対策に限らないはずであり、事業の全体像を示す必要があるのではないか。